

「うらやすこども大学」に大学院園芸学研究科の野村昌史准教授を講師として派遣

千葉大学と平成 27 年度より包括連携協定を結んでいる浦安市が「うらやすこども大学」を開催し、大学院園芸学研究科の野村昌史准教授が講師を担当しました。

今年度は「いろんな不思議について考えよう！」という学習テーマで行われ、野村准教授は「昆虫の不思議～その生き残り戦略の秘密に迫る～」を題目にして講義・実習を行い、小学校 4・5 年生 37 名が参加しました。

講義は、様々な種類の昆虫のスライドの紹介やクイズを中心に進められ、活発な質疑応答もあり、終始盛況に進められました。

実習では、テントウムシ等の越冬する昆虫を誘引する「インセクト・ハウス」を、プラスチックのカップに落ち葉や毛糸を詰めて作成しました。完成した「インセクト・ハウス」は、各生徒が自宅に設置し、昆虫の生態を観察するために使用されます。

千葉大学は、今後も地方公共団体等と共同し、地域貢献活動を推進していきます。



講義を行う野村准教授



インセクト・ハウスを作成する小学生



完成したインセクト・ハウス